

「健康スコアリングレポート」の開示

「健康スコアリングレポート」は、各健保組合の加入者の健康状態、医療費、予防・健康づくりへの取組状況等について、全健保組合平均や業態平均と比較したデータの経年変化が見える化したもので、政府の『未来投資戦略 2017』を受け、厚生労働省・経済産業省・日本健康会議が連携して、2018年度より各健保組合に通知しています。

今般、当組合に通知された「健康スコアリングレポート」を開示します。

※当組合では、当該レポートに基づく健康課題や取組状況を事業主と共有し、効果的な対策の立案・実施に活用します。

〈当組合あて「健康スコアリングレポート」の概要〉

(被保険者・被扶養者全体の2022年度実績値に基づく)

項目	全健保組合との比較結果	備考
特定健診(※1)の実施率	良好 (単一組合順位: 151位/1123組合)	実施率: 94.6% ・厚労省の目標値「90%」を6年連続達成
特定保健指導(※2)の実施率		実施率: 64.7% ・厚労省の目標値「55%」を達成
生活習慣病リスク保有者の割合	良好	肥満、血圧、肝機能、脂質、血糖リスクとも最上位ランク ただし、肥満・血糖リスク指数はやや悪化
適正な生活習慣を有する者の割合	良好	喫煙、運動: 最上位ランク 食事: 上位10%ランクまで10pt 飲酒: 上位10%ランクまで1pt 睡眠: 上位10%ランクまで9pt
一人当たり医療費(※3)	平均を下回る	前年より7,812円増加 性・年齢補正後の全国平均指数を1とした場合0.07pt下回る

※1. 生活習慣病の予防のために、40歳から74歳までの方を対象に、メタボリックシンドロームに着目した健診(腹囲、血糖値、血圧等。当健保では、事業主の実施する定期健診と同時に実施)

※2. 上記「特定健診」の結果、腹囲や血圧等の数値が一定の基準を超過する者に対して行われる医師、保健師等による生活習慣改善のための支援。

※3. 総医療費を組合の加入者数で除した値。

以上